

News Release

2020年10月22日
独立行政法人製品評価技術基盤機構
NITE（ナイト）
東北支所

誤った使い方で大けがを負うことも ～はしご・脚立の事故に注意～ (東北版資料)

1. 事故の発生状況

2010年度から2019年度までの10年間にNITEに通知のあった製品事故情報^{※1}のうち、はしご・脚立の事故は合計398件^{※2}（はしご111件、脚立287件）発生しています。そのうち365件（92%）が人的被害を伴っており、死亡事故3件、重傷事故154件と重篤な被害も多く発生しています。東北地方での、はしご・脚立の事故は26件発生しています。そのうち25件が人的被害を伴っており、重傷事故は10件（10人）、軽傷事故は15件（15人）発生しています。

はしごや脚立の事故では、全国では198件（約50%）が使用上の不注意によって発生しています。東北地方でののはしごや脚立の事故でも、26件中16件は使用上の誤使用、不注意によって発生しております。はしごや脚立を適切に取り扱い、事故を未然に防ぎましょう。



(イメージです。)

表1 はしご・脚立の事故の県別の年度別事故発生件数

発生年度	発生県						合計
	青森	岩手	宮城	秋田	山形	福島	
2010年度	0	0	2	0	1	0	3
2011年度	0	1	0	0	0	2	3
2012年度	0	0	3	1	0	0	4
2013年度	0	0	2	0	0	1	3
2014年度	2	0	5	0	0	0	7
2015年度	0	0	0	1	0	0	1

2016年度	0	1	0	1	0	0	2
2017年度	0	0	1	0	0	1	2
2018年度	0	0	0	0	0	0	0
2019年度	0	0	0	0	0	1	1
合計	2	2	13	3	1	5	26

表2 はしご・脚立の事故の県別の被害状況別事故発生件数

被害状況	発生県						
	青森	岩手	宮城	秋田	山形	福島	合計
死亡	0	0	0	0	0	0	0
重傷	1	1	5	2	0	1	10
軽傷	1	1	7	1	1	4	15
拡大被害	0	0	0	0	0	0	0
製品破損	0	0	1	0	0	0	1
被害なし	0	0	0	0	0	0	0
合計	2	2	13	3	1	5	26

表3 はしご・脚立の事故の県別の事故原因区分別発生件数

原因区分	発生県						
	青森	岩手	宮城	秋田	山形	福島	合計
製品に起因する事故	A: 設計、製造又は表示等に問題があったもの	0	0	3	0	0	3
	B: 製品及び使い方に問題があったもの	0	0	0	0	0	0
	C: 経年劣化によるもの	0	0	0	0	0	0
	G3: 製品起因ではあるが、その原因が不明のもの	0	0	0	0	0	0
製品に起因しない事故	D: 施工、修理、又は輸送等に問題があったもの	0	0	0	0	0	0
	E: 誤使用や不注意によるもの	1	2	8	1	1	16
	F: その他製品に起因しないもの	0	0	1	0	0	1
G1、G2: 原因不明のもの	1	0	1	2	0	1	5
H: 調査中のもの	0	0	0	0	0	0	0
合計	2	2	13	3	1	5	26

(※1) 消費生活用製品安全法に基づき報告された重大製品事故に加え、事故情報収集制度により収集された非重大製品事故やヒヤリハット情報（被害なし）を含める。

(※2) 重複、対象外情報を除いた事故発生件数。

2. 主な事故事例

○2019年4月26日 はしご兼用脚立（福島県、20代男性）

事故内容： はしご兼用脚立を脚立状態で使用中、転倒して口唇部に軽傷を負った。

事故原因： 当該製品は支柱の長さが個々に調整できる製品であるが、昇降面左側の支柱の長さは右側と比べて長く床に設置した脚立は傾いた状態であったため、脚立を降りる際にバランスを崩し、転倒して負傷したものと推定される。取扱説明書には、「傾いたままで使用するとバランスを崩して転倒や転落の恐れがある」旨、記載されている。

○2015年10月30日 脚立（はしご兼用、秋田県、40代男性）

事故内容： 当該製品を脚立として使用中、転倒し、右足を負傷した。当該製品の支柱が最下段の踏ざん取付け部の直下で内側に折れ曲がっていた。

事故原因： 使用者がコンクリートブロックを地面上に敷き詰めた場所に当該製品を設置し、天板を含め2段目の踏ざんに乗って作業を行っていた際に、バランスを崩して横方向に転倒し、倒れた脚立の支柱に身体が落下するなどの衝撃が加わり、支柱が内側に折れ曲がったものと推定されるが、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。

○2014年12月27日 踏み台（宮城県、70代女性）

事故内容： 当該製品を使用中、転倒し、負傷した。当該製品の脚部は閉じており、開き止め金具はストッパーを乗り越えて逆方向に折り畳まれていた。

事故原因： 当該製品を使用中に使用者がバランスを崩して転倒し、身体が当該製品にぶつかったことにより、開き止め金具が逆側に折り畳まれたものと考えられ、製品に起因しない事故と推定される。

○2013年2月16日 脚立（伸縮式・はしご兼用、宮城県、60代男性）

事故内容： 当該製品を使用中、伸縮式の脚が縮み、転落し、負傷した。

事故原因： 調査の結果、当該製品の伸縮脚ロックレバーのばねの強度が不足していたため、使用者が脚立状態にして乗っていた際、ばねが破損してロックが外れ伸縮脚の1本が縮んだことで脚立が傾き、バランスを崩して転落したものと考えられる。

○2010年5月8日 はしご兼用脚立（山形県、40代男性）

事故内容： はしご兼用脚立をはしごにして使用中、突然転落し、打撲を負った。

事故原因： 被害者が、左右の開き止め金具のうち片側の開き止め金具をかけ忘れ、かつ、はしごの裏表を逆にして使用していたため、かけていた開き止め金具に使用時の荷重により引張方向の力が加わって破断し、はしごが折り畳まれたため、落下した被害者がはしごの上に落ちた衝撃で両支柱が破断に至り、打撲を負ったものと推定される。

3. 製品事故の実験映像について

製品事故の実験映像に関しまして、写真及び動画をご希望の場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

なお、映像をご使用の際、クレジットは「製品評価技術基盤機構+NITE のロゴ」としてください。

以上

【編集人のつぶやき】

秋も深まり朝夕は日ごとに肌寒くなってまいりました。
冬物の上着が必要になってきたこともあり、皆様も衣替えをされている時期だと思います。編集人は、押し入れの上の棚などに仕舞い込んだ冬物を、ホームセンターで良く見かける2段の脚立を利用して取り出していますが、重い衣装ケースを取り出す際にバランスを崩した経験があります。また編集人の実家は、北東北の雪深い地域ですが、毎冬雪下ろしのために何度も屋根に上ります。豪雪地域ですので、雪の上にはしごを設置せざるを得ないケースもあり、はしごが斜めになり、転倒しそうになったこともあります。

様々な便利なはしご・脚立が販売されていて、高所の作業も手軽に出来ますが、傾斜のある場所で使用しないことや、はしごでの作業の際に補助者をつけるなど、安全に使用して事故を未然に防ぎましょう。

(本件に関する問い合わせ先)

〒983-0833 宮城県仙台市宮城野区東仙台 4-5-18

独立行政法人製品評価技術基盤機構 東北支所

ナイト

(略称:NITE)

担当:菊地(きくち)、齋藤(さいとう)、照井(てるい)

電話:022-256-6423

E-mail:jiko-tohoku@nite.go.jp

NITE
ホームページ

YouTube
公式チャンネル

Twitter
公式アカウント

